

住まい運営チームのための「共通言語」づくり

デンマークの全寮制学校に学ぶ
-現場での実践と振り返り編-

2026年2月25日

本日のタイムライン

時間	内容
15:00 – 15:10	イントロ・チェックイン
15:10 – 15:20	バックトラック（第1回振り返り）
15:20 – 15:35	ブレイクアウト（各校の実践シェア）
15:35 – 16:05	フィッシュボウル ①
16:05 – 16:15	ペアでシェア ①
16:15 – 16:45	フィッシュボウル ②
16:45 – 17:00	エンディング・まとめ

リフレクションファシリテーター



岡田勝太 (Shota Okada) NPO法人SET理事 / 株式会社 仁藝 代表取締役

2011年の東日本大震災を機に、陸前高田市にボランティアとして関わり始める。大学3年時には1年間休学して復興支援に専念し、2015年に卒業卒業と同時に移住。NPO法人SETのメンバーとして、地域課題の解決と人材育成を軸に多角的な事業を展開。

自身が立ち上げた「Change Maker Study Program」では、外部の学生と地域住民がチームを組んでまちの魅力や課題を見つけ、まちづくりに取り組む一週間の実践型プログラムを実施。一般家庭でのリアルな生活体験を届ける民泊事業を手掛け、2025年度には延べ2,884名の受け入れを達成。300名規模の修学旅行を受け入れるなど、東北地区最大規模の民泊地域へと成長させた。

デンマークの教育機関と協業し、地域を舞台に持続可能なライフデザインをテーマにした学校「Change Makers' College」の運営や、デンマーク視察のコーディネートも手掛けるなど、国際的な視点を取り入れながら、豊かな生き方と地域の新たな可能性を切り拓いている。

企画趣旨-なぜ今日この場を開くのか-



背景

「ヒューマニティ・ベースド（人間性に基づく）」な考え方を、地域みらい留学として大切に育んでいきたい。



目的

Momoyoさんの視点を通じ「人の育て方」の本質を学び、私たちがどう向き合うべきかのヒントを得る。



ゴール

参加者間で「共通言語」をつくり、それぞれの現場へ持ち帰るための確かな「土台」を築くこと。

チェックイン

今の気持ちを教えてください

.

本日、どのようなことを期待していますか？

.



Backtrack

第1回の振り返り

実践のシェア

🍃 第1回後、現場でやってみたこと

小さな一歩でも構いません。Momoyoさんの話を受けて変化した行動を共有しましょう。

💡 やってみてわかったこと

実際にやってみて、生徒の反応や自分たち、あるいは自身の心境にどんな変化がありましたか？

2地域・4名程度のグループで対話します。

Fishbowl .01

「自分の中の解釈」に光を当てる

“

**実践した上で、ももよさんの講義の
どこの部分がハウスマスターとしての
本質だと思いましたか？**

”

ももよさんの話の中で思い起こされることはありますか？

気づきを前回のグループでシェア



元のグループに戻りましょう

フィッシュボウルを聴いて、自分の内側にどんな気づきや「揺らぎ」が生まれましたか？

共に運営するパートナーだからこそ、正直な気持ちを共有してみてください。

Fishbowl .02

「自分の中のあり方」を問う

“

**本質的なことを大切にするために
私たちがチャレンジすることはなんですか？
ももよさんの話の中で思い起こされることはありますか？**

”

気づきを前回のグループでシェア



元のグループに戻りましょう

フィッシュボウルを聴いて、自分の内側にどんな気づきや「揺らぎ」が生まれましたか？

共に運営するパートナーだからこそ、正直な気持ちを共有してみてください。

お知らせ

2026年度 デンマーク 視察プログラム

日程: 10月25日-10月31日(日本着 11月1日)

内容: 現地視察 + 事前・事後研修

費用: 研修費 10万円

*交通費、宿泊費、現地での食費などは含まれておりません。



アンケートのお願い



本日はありがとうございました

共通言語を育み、共に未来をつくっていきましょう。

アーカイブ動画・資料は後ほど共有いたします。